

放射線検査 (Radiographic testing) コンクリート内部調査

概要

近年、コンクリート構造物において老朽化や地震などの災害によるひび割れや剥離、コンクリートの落下といった様々な問題が生じています。

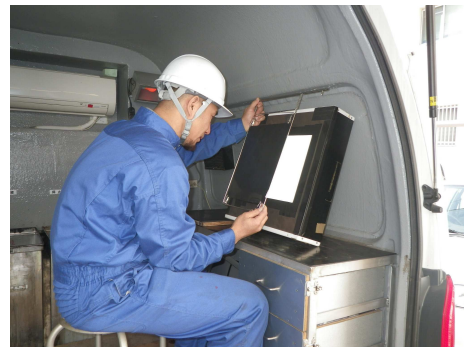
弊社ではこのような問題を未然に防ぐため、コンクリートの放射線検査(X線)を実施しています。

調査例

X線撮影状況



フィルム観察状況



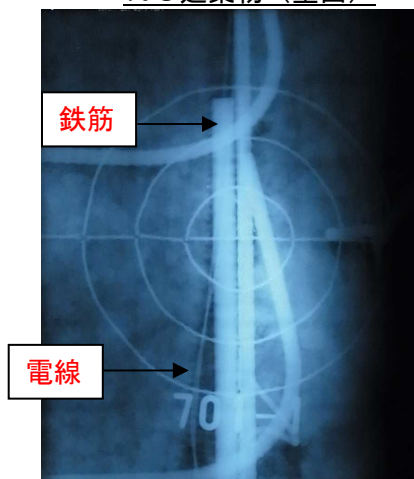
X線発生装置からX線を照射し、コンクリート内部の配筋状況や電線管、CD管、亀裂、空洞など様々な物の位置や大きさなどをコンクリート対象物の裏側に貼ったフィルムに写し出し、現場にて暗室現像車でフィルムの現像、観察、判定を行い、その場ですぐに検査結果を報告致します。

主な特徴

コンクリート厚は約 300mm 程度まで検査可能です。コンクリート表面からは直接見えない部分を可視化し、像として写し出します。また、タイルやパネル越しでも施工可能です。フィルムのサイズは大きいもので 300×250mm ですが、X線は放射状に広がる性質があるため、コンクリート厚や撮影状況により施工結果やフィルム枚数は異なってきます。

撮影フィルム像

RC建築物 (壁面)



橋梁 (桁面)

